

令和2年11月20日

村民の皆様へ

議会定数についての中間報告（概要）

豊丘村議会 議長 下平 豊久
豊丘村議会改革検討委員会
委員長 松下 亨

はじめに

議員定数の削減が必要という村民の声をうけて、当委員会として真摯に受け止め検討を重ねてまいりました。

このたび、全議員が現時点（11月4日）における意思表示をしました。

つきましては、下記のとおり中間集約の状況をご報告いたします。

記

1. 議員定数に関する中間集約の状況

(1) 全議員 14 人の現時点における意思表示の内訳

① 現状維持（定数 14 人）の表明者 6人

② 定数削減の表明者 7人

削減後の定数は 10～12 人。7人のうちで、12人と明確に表明している議員は5人、削減は必要だが明確な人数は未定が1人、削減後の定数は偶数がよいが1人。

③ 未定（審議不足のため）の表明者 1人

(2) 意思表示の根拠、理由の概要は裏面のとおりです。

2. 今後の対応

議会としての最終結論は、来年の3月議会定例会で決定する予定です。

以上、議員定数に関する中間報告の概要についてお知らせいたしました。

なお、この中間報告に対してのご意見等を募集いたします。

募集の期限は、12月14日（金）午後5時までとします。議会事務局までお寄せください。（文書、メール、F a x、電話全て対応します。）

今後とも、議会と村政に対し強い関心をお持ちいただき、忌憚のないご意見をくださいますよう、お待ちしております。

お問い合わせ先

豊丘村役場 議会事務局

電話 35-9063 Fax 35-8355

メ-ル gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp

区分	根拠・理由
① 現状維持	<p>ア 村政課題は多いため現状の2委員会制とし、1委員会7人は必要。</p> <p>イ 土木事業などは区の仕事に代わって議員の関わりは少ないが、その他教育や福祉・観光振興・人口増加対策事業などは、事業量の増加や新規事業が増えて議員の必要性はある。今まで、多くの実績を挙げている。女性や若者など各層からの議員は必要。</p> <p>ウ 行政改革と議員定数は関係ない問題。議員から行政に積極的に提案するためには、現状維持の議員数が必要。現状14人の報酬で、村財政を圧迫はしていない。</p> <p>エ 減員することは、民主主義でのマイナス要素が増えると考ええる。多くの方の意見を聞くために、減員は好ましくない。</p> <p>オ 村内各層から出馬してもらい、多様な意見を反映するためには一定の人数が必要。定数を行政改革の一環で論議するのは間違い。</p> <p>カ 「近隣町村を比べて14人は多い」ということの根拠は薄い。</p> <p>キ 全国の実態では、削減⇒無投票⇒削減と負のスパイラル（連鎖）を起こしている。</p>
② 定数削減	<p>ア 1委員会6人で2委員会の12人。議会改革と議員の活動力で運営は可能。</p> <p>イ 全国の人口6,000人以上10,000人以下の村21のうち、定数14人は2村のみで、他の1村で青森県東通村。県内では当村のみ。</p> <p>ウ 公民館アンケートや未来の集いの皆さんなど、住民意向は14人多いという意見。高森町と比べると人口は半分、定数は14人で同じ。委員会は6名でも十分検討できるという報告もある。1委員会6人で2委員会の12人。</p> <p>エ 支援地域の意見が、前は現状維持から今回は定数削減に変わってきている。現状維持についての明確説明に自信がないので減員。</p> <p>オ 「定数を減らせ」という声大きい。多くの町村では、削減しても活発に活動している。</p> <p>カ 広域行政や一部事務組合でも事業を行っており、その分事務量は減っている。</p> <p>キ 削減で女性が出にくいというが、他町村では女性議員が出馬して活躍している。出にくい理由は、数ではなく本人の気持ちと推してあげる気持ち。住民の意見の吸い上げも、数が必要ではなく個々の議員活動で対応できる。無投票だったから削減という理由ではない。</p> <p>ク 議会として正論として考えると現状維持ではあるが、住民の代表として住民の声に答えるとなると、今回は減員と考える。</p>
③ 現状未定	<p>ア 近隣町村との比較も大事だが、定数は豊丘村独自で考えればよい。議会運営は何人がよいのか結論がでていない。審議不足である。</p>